

横浜市立名瀬中学校

平成28年度学力向上アクションプラン

1 中期学校経営方針

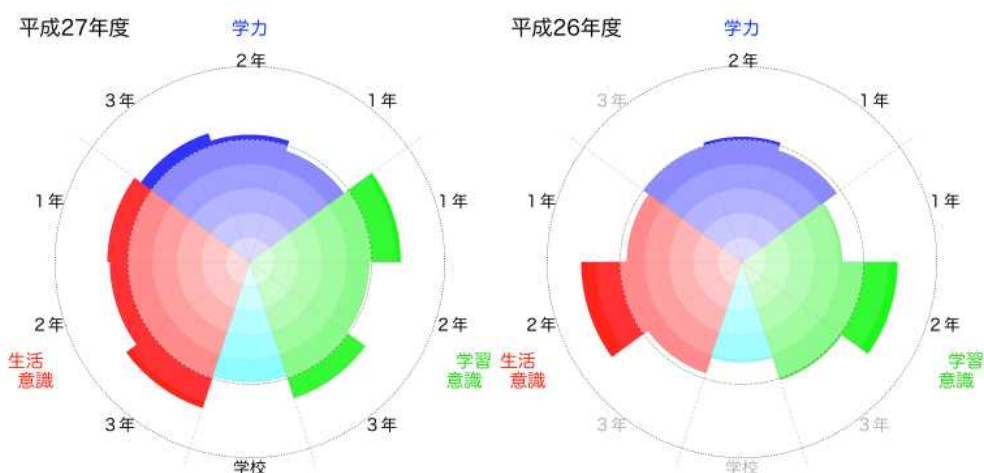
(1) 学校経営中期取組目標

学校経営中期取組目標
○生徒一人ひとりが自己有用感を高めながら、安心して生き生きと自信に満ちた学校生活を送ることができるように努めます。
○基礎基本の定着を図り、主体的協働的に学ぶ意欲を向上させるため教科指導の充実に努めます。
○好ましい環境のもと、人権の尊重と徳育の充実に努め、心身の健康と安全に努めます。
○学区小学校との連携を密にし、小中一貫教育を目指した教育活動の推進に努めます。
○家庭・地域との連携を密にし、教育活動についてお互いの理解を深めるよう努めます。
○教職員全員で研究研修に意欲的に取り組み、生徒一人ひとりに応じた指導力をつけるよう努めます。

(2) 学力向上に向けた重点取組分野・取組目標・具体的取組

重点取組分野	取組目標	具体的取組
確かな学力 (学習指導)	○基礎学力の定着を図るとともに、「わかる授業」への工夫改善に努め主体的協働的に学ぶ生徒を育てます。	○学力学習状況を把握・共有し、少人数及びTT授業、個に応じた指導等、学力定着に努めます。
担当	○言語活動の充実に全教科で取り組みます。	○校内及び小中の相互授業参観を実施し授業改善および授業力向上を図ります。
・学習指導部 ・教育課程委員会		○授業改善担当を中心に、計画的に生徒が主体的協働的に学べるよう、グループ学習や討議、プレゼンテーション機会を増やし生徒のコミュニケーション能力・表現力を高めます。

### 3 横浜市学力学習状況調査からの平成 27 年度の実態把握



#### (1) 学力の概要と要因の分析

現3年生（調査時2年）は、学力・学習意識・生活意識が昨年度より向上している。ただし、英語・理科の学習意識が市の平均以下であり、英語に関しては下がり傾向にあり、今年度の課題になる。

現2年生（調査時1年）は、学力はほぼ市の平均並であるが、学習意識・生活意識ともに高いので、今後の指導により、学力に関して大いなる向上が期待できる。

本校の、前回からの引き続いている課題は表現力・コミュニケーション力である。

「授業では、自分の考えを発表していますか。」という質問に対して

「よくしている」+「どちらかといえば」の回答が以下である。

（現3年生）26.9%<（市3年生）48.6%，（現2年生）36.2%<（市2年生）48.5%，生徒の様子から考察すると、授業中の話し合い活動、教え合い活動などとても意欲的に取り組んでいることから、この質問の意味することは、教師側の発問に対する発言に自信が無く消極的であることを意味している。「積極的な発言」を、評価の損得を超え、価値ある行為であることを繰り返し指導していく必要がある。

#### (2) 教科学習の状況 正答率表（単位％）

教科	学年	基礎・基本	活用
国語	現2年	59.1	46.3
	現3年	59.5	45.6
社会	現2年	59.7	37.6
	現3年	66.5	46.9
数学	現2年	56.7	36.1
	現3年	68.3	42.8
理科	現2年	41.7	36.1
	現3年	54.5	12.8
英語	現2年	62.8	26.7
	現3年	62.5	39.7

教師の本来の役目は、「知る喜び」を教えることである。最も重要なのは「勉強は好きですか。」という問いである。「好き」+「どちらかといえば、好き」の割合は（現3年生）32.6%<（市3年生）34.8%，（現2年生）45.7%>（市2年生）36.9%，という結果である。現3年生も「好き」という項目に限定すると

（現3年生）10.5%>（市3年生）8.5% になっている。いずれにしても現3年生を指導する教員はもとより、全職員で、学問の楽しさを指導しなければならない。

### (3) 経年変化の状況と要因の分析（学習・生活意識も含めて分析）

3年生は、学習意識・生活意識全体に向上が見られ、それゆえ学力も向上している。①や⑤から「こつこつ努力し、最後までやりとげる」ことは、まだ市の平均より弱い傾向にあると分析できる。しかしながら市とほとんど大差ないといってもよい。

道徳の面からも「こつこつ努力し、最後までやりとげる」価値を取り上げていく必要があるかもしれない。いろいろな教育の場面で指導していきたい。

① 1時間以上勉強している : (3年)37.4% < (市)38.6%、(2年)41.1% > (市)39.0%

② 塾に行っている : (3年)72.6% > (市)69.8%、(2年)61.3% > (市)56.0%

③ 学校図書館 [好き+どちらかと言えば]  
: (3年)56.3% > (市)52.7%、(2年)65.8% > (市)65.2%

④ 30分以上の読書をしている : (3年)27.2% > (市)25.3%、(2年)26.8% > (市)25.3%

⑤ ものごとを最後までやりとげてうれしかったことがある [ある]  
: (3年)75.8% < (市)76.0%、(2年)77.4% > (市)76.3%

⑥ 音楽や芸術などの芸術に関心ありますか。  
: (3年)72.1% > (市)69.1%、(2年)73.4% > (市)68.7%

ここ数年間の名瀬中学校の学力は、市の学力の状況とほとんど変わらない。それ以前の名瀬中学校と比較すると、とても良好である。特に「勉強が好き」という生徒が増加しているのは喜ばしいことである。

## 4 平成28年度 目標と具体的方策

学ぶことの大切さや喜びを感じながら、自らの課題解決に向けて主体的・協働的に学ぶ生徒の育成を目指します。(平成28年度目標)

### (1) 学校組織としての共通の取組

#### ○ 確かな学力の確立

学力の向上に向けて、基礎的・基本的な知識・技能の向上を目指すとともに、言語活動の充実を目指し、「わかる授業」の工夫改善に努めます。

#### ○ 教科指導の充実

教科指導の充実を図るために、校外の研修会にも多く参加し、「表現力の向上」に特化して、指導のスキルを研鑽する。

#### ○ 学習習慣の向上

ノートの使い方やレポートの書き方などを工夫させたり、反復によって効率よく身に付く学習内容を、授業展開の最初に小テストとして位置づけたり、宿題にしたりして家庭での学習習慣の向上を図る。

## (2) 学年・教科等としての取組

### 国語

- 国語を正しく理解し、わかりやすく伝えていけるような表現力・語彙力の充実をはかる授業の工夫をする。
- 国語に対する関心を高め、心の豊かさや考え方の幅を広げて行ける活動を取り入れた授業を行う。

### 社会

- 今後の学習に対する見通しを持てるように、単元の導入に資料や写真を活用して関心を高める。
- 自分の考えを深めることができるような活動を計画的に取り入れる。

### 数学

- 数学的活動を重視し、身近な生活と関連付けた学習を意識した授業の展開を考える。
- 表現力を育てるために、各分野での予想や思考を話し合わせる場面を積極的に設け、考える活動をしっかり行う。

### 理科

- 基礎基本の定着をより一層はかりながら身につけた知識技能を活用する力を育成する。
- 科学に対する関心を深めるために、生徒の主体的活動を重視して考える力を育成し、表現力の向上につなげる。

### 音楽

- 鑑賞分野では、生徒同士でコミュニケーションを取り入れながら、楽曲や作曲者について、理解を深める活動を取り入れる。
- 合唱指導において、コミュニケーション活動を通じ、相手の考えや思いを理解し、協力する態度を育てる。

### 美術

- 毎時間授業の反省を生徒自身が記録しておくことで、次時への見通しをもち、意欲的に制作できるようにする。
- 鑑賞分野では、作品に込められた思いを感じ取り、作者に対する理解を深められるようにする。

### 技術・家庭

- 小学校や他教科での既習事項や生活体験・興味関心を把握し生徒の資質・能力を踏まえ題材設定を行う。
- 実践的・体験的活動の充実を図る中で、生徒自ら問題解決できるような題材を設定する。

保健体育科は「**体育健康プラン**」に。

道徳は「**豊かな心の育成推進プラン**」に記載。

### 外国語

- 簡単な英文を用いて自己表現をする、または相手の思いを理解する。
- 全学年で英語の歌に取り組み、英語の音声・リズムや文化に慣れ親しむための素地を養う。

### 特別活動

- 自治活動を疑似体験することにより、民主主義社会におけるコミュニケーション能力の育成を図る。
- 話し合い活動では、相手の考えや思いを尊重し、協力して問題解決する態度を育てる。

### 総合的な学習の時間

- 職場を選択する活動を通して自分への気付きを具体的な行動につなげて考えるようにする。
- 職業・福祉体験活動で学んだことを整理分析することで、自分の将来について考え始めるきっかけを作る。

### 個別支援学級

- 個別の指導計画に基づき、授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図る。
- 日常生活を楽しく円滑に過ごすことができる力を身につける場面設定を多くする。